

Topics 進路講演会「学びはチャンス」

講師 長岡市国際交流センター理事 羽賀友信 様

5月17日(水)

5月17日、羽賀友信氏を招いての「進路講演会」がありました。講演はスライドを見ながらのもので、世界の多くの国ではいまだに戦争や紛争が絶えず、多くの子供たちが学校に通うことはおろか、まともに教育も受けることもできないという現状が紹介されました。ノートや鉛筆もなく学校の建物すらないという状況の中で、子供達が知識を身につけようと必死に学ぼうとしている姿が映し出され、日本の子供たちがいかに恵まれているかが実感され、私たちは学ぶことの本来の意味を見失ってはいないかと考えさせられました。



以下は生徒の感想です。多くの生徒が先生の言葉を忘れずに、勉強に取り組んでいきたいと感じており、今後も心に響くような講演会を実施していければ、と考えています。（進路指導部）

羽賀友信 1950年長岡市に生まれる。世界66ヶ国を訪問し、1980年よりカンボジア難民救援医療プロジェクトにおいて主任調査員として国境地帯で病院を運営。2002年長岡市国際交流センター長。2003年より長岡市教育委員。2008年長岡工業高等専門学校に「地球ラボ」設立。

生徒の感想

- 私たちの方が恵まれているのに、貧しい国々の子供たちの方が勉強を頑張っていることを知り、自分達は感謝をして頑張らなくてはと思った。
- 学校に行ってもノートや書くものがなく、校舎すらないことを聞いて驚きました。今の環境に感謝したい。
- 紛争や戦争で勉強できずにいた人々が、必死に勉強をして自分の人生を変えていることを聞いて驚いた。
- 羽賀先生と同じように、世界とつながり、人の役に立ちたいと思う。



- 大きな夢を持ちたい。恵まれていることを理解し、生きていきたい。
- 学べることをチャンスと考え、独自の視点で物事を見て、説明できる力を持ちたい。
- 能力には差が無く、自分の努力次第でチャンスをつかめると聞いて、頑張ろうと思った。
- 「自分の置かれている状況はハンディではなく、チャンス」という言葉が印象的だった。

